

ふくしま新ステージ 有識者懇談会 【第3回】

日時：令和元年11月14日 木曜日 午後2時～午後4時

場所：福島市役所 4階 市長応接室

～ 目次 ～

- (1) 第2回懇談会の振り返り 3**
- (2) 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議の活動状況 4**
 - 資料1 参加者からのキーワード**
- (3) 「将来構想」及び「基本方針」の
策定に向けた協議 7**
- (4) 今後のスケジュール 13**

(1) 第2回懇談会の振り返り

～懇談会時の主なご意見（ポイント）～

分類	主なご意見（ポイント）
まちづくりの 方向性	<ul style="list-style-type: none">・ 市民、特に若者が夢を持って暮らしていけるようにしたい。・ 高齢者の社会参加には公共交通機関やバリアフリーが重要である。・ 女性活躍(働きやすさ)には男性の働き方改革が必要である。子どもの人数と経済力（共働き）は密接に関係している。
指標の設定	<ul style="list-style-type: none">・ 目標値の設定や進捗管理、評価の手法が大事となる。・ 起きていること（実績）の要因を把握、分析する必要がある。これらの捉え方を間違えると、施策の成果（進捗）の把握や今後の施策展開に影響がある。
市民参画	<ul style="list-style-type: none">・ 10年先の福島が、魅力があり、そして市民や来訪者から評価されるためには、行政のみでなく、市民、大学、経済界等が一体となって取り組む必要がある。・ Yu-Me(ゆめ)会議は、市民が主体的にまちづくりに関わる良い機会、当事者意識を高める効果的な場。

(2) 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議の活動状況

【第1回】 学び (講話) と条件なしに未来を語る

⑩ 未来の福島市がまわりからとてもうらやましがられているとしたら、どのようなまちや暮らしになっているのでしょうか？

➡ 将来構想をキーワードを通じて探る、
「対話」に慣れる

【第2回】 福島市の現状を見つめ直して未来を語る

⑩ 福島市のもっと伸ばしたい「強み(いいところ・資源)」、
ぜひ解決したい「弱み(わるいところ・課題)」は何ですか？

➡ 市民が感じているニーズや不安を調べる

(2) 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議の活動状況

【第3回】 選択の時代であることを学び未来を語る

⑩ まちづくりシミュレーションゲーム
あなたが、これからの福島市にとって、一番大切にしたいことは何ですか？

➡ 行政(財政)の現状を知る、現在と未来をつなぐ、ビジョンや方向性の大切さを学ぶ

【第4回】 福島市の現状を見つめ直して未来を語るpart2

⑩ 関心のあるテーマごとに「強み」と「弱み」を深掘り
コミュニティ、福祉、PR、就業、子育て、交通、賑わい、環境 など
福島市の〇〇の「強み」と「弱み」を、どうしたいですか？

➡ 現状の「強み (いいところ・資源)」と「弱み (わるいところ・課題)」をさらに深掘りする、冷静な再分析

(2) 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議の活動状況

【第5回】 未来の福島市の「具体的な姿」を語る

⑩ 福島市の「未来の新聞」をつくろう

未来の福島市がまわりからとてもうらやましがられているまちや暮らしになっているとしたら、そのときの新聞にはどのような記事が掲載されているのでしょうか？

➡未来の姿を形にする、キャッチコピー、関心度合いの分析



福島市の「将来構想」や「基本方針」につながる意見やキーワードを把握

(3) 「将来構想」及び「基本方針」の策定に向けた協議

【総合計画の構成】

福島市総合計画（計画期間5年）

まちづくり基本ビジョン

10年先の福島市の将来を見据えたまちづくりの
グランドデザイン
(基本ビジョンの計画期間
(5年)に囚われない)

目指すべき将来のまちの姿
【将来構想】

政策の方向性
【基本方針】

重点施策
〔将来構想や基本方針を
実現するための基本施策〕

施策
【分野ごとの各施策】

新しい実行プラン

分野ごとの個別計画【各課】

2019年度
(令和元年度)

2020年度
(令和2年度)

【推進体制】

市議会

有識者懇談会

Yu-Me
(ゆめ)
会議

市長

策定委員会



(3) 「将来構想」及び「基本方針」の策定に向けた協議

～福島市総合計画（基本構想）における将来都市像等の経過～

策定次	第一次(昭和46年)	第二次(昭和57年)	第三次(平成2年)	第四次(平成12年)	第五次(平成22年)
将来都市像 (将来構想)	住みよく豊かで 香り高い都市 福島	住みよく豊かで 緑あふれる都市 福島	個性・いきいき・ 快適都市 福島	しのぶの里に自然と 人情が織りなす 人間尊重都市 ふくしま	ときめきとやすらぎ 希望にみちた人間 尊重のまち 福島市
まちづくり のための 基本的な 考え方 (基本方針)		快適で住みよい 都市づくり	魅力ある都市空間の 創造	一人ひとりの個性が 活きる人が輝くまち	【基本的な考え方】 1.市民との協働の まちづくり 2.地域の個性を生か したまちづくり 3.土地利用の基本方針 【重点施策】 (1)安心して住める まちづくりの推進 (2)子育て支援の推進 (3)産業振興、交流 人口拡大による 雇用機会の創出 (4)高齢者がいきいき と暮らせるまちづ くりの総合的推進 (5)環境にやさしい 美しいまちづくり の推進
		緑あふれる清潔で 安全な 都市づくり	快適な都市環境の 整備	豊かな自然と 共生する美しいまち	
		健康で心のかよい あう 都市づくり	活力のある産業の 振興	やすらぎと潤いの ある安全・安心な まち	
		情操豊かな創造性を はぐくむ都市づくり	創造性豊かな 人間形成	経済力の強い活力の あるまち	
		豊かな生活を築く 活力ある都市づくり	潤いのある福祉社会 の実現	連携と交流が生み 出すにぎわいのある まち	

※第五次において初めて総合計画に「重点施策」を位置付けた。

(3) 「将来構想」及び「基本方針」の策定に向けた協議

将来構想

10年先を見据えた福島市の目指すべき将来のまちの姿を表現するもの。

～たたき台～ ※あくまでたたき台です。

① ひととまちが輝き 元気があふれる

唯一無二の都市 福島市

② 勇気と希望 みんなに届ける 福島市

③ 復興からの飛躍 輝く未来

～世界にエールを送るまち ふくしま～

(3) 「将来構想」及び「基本方針」の策定に向けた協議

【解説】

- ◆Yu-Me会議や市民アンケート調査において、福島市の未来の姿や魅力を尋ねた際に多かった、子どもや世代、地域のつながり、人の優しさや温かさ、暮らしといった「ひと」に関すること、観光や産業、自然といった「まち」に関すること、若い世代の活躍、地域や駅前の活性化といった「ひとやまちの輝き」に関すること、また、情報発信・PRといった「届けること」に関するキーワードを参考にした。
- ◆また、新しい総合計画が始まる令和3年度は、東日本大震災から10年が経過し、国の復興・創生期間終了後の新たなスタートを切る年であることを念頭に置き、我々の先人たちがこれまで苦勞して築き上げてきた歴史や文化に対して誇りを持ち、新しい未来や大きな発展（希望）に向けてチャレンジ（元気・勇気）する意味を込めた。
- ◆さらに、市民のためだけのまちづくりではなく、福島圏域・県全体を牽引する「唯一無二」の県都として、復興を成し遂げ、みんな（世界）から目標にされる、励みになれる、新しい福島の新ステージを目指すことを表現した。

(3) 「将来構想」及び「基本方針」の策定に向けた協議

基本方針

「将来構想」を実現するための政策の方向性として、5年間の基本的な考え方を示すもの。

～たたき台～ ※あくまでたたき台です。なお、基本方針は3つ～5つを想定しています。

① 原子力災害から力強く復興するまち

…原子力災害からの復興は着実に進展しているものの、今なお復興は未だ道半ばである。引き続き、放射線対策や風評払拭に取り組み、復興を加速しながら新しいまちをつくる。

② 誰にでもやさしいまち

…子育て世代から高齢者、障がい者や外国人など、人がつながり支え合い、心身ともに健康で、安全安心に、誰もが住んで良かった、住んでみたいと思えるまちをつくる。

③ 賑わいと活力があふれるまち

…人口減少社会が進展する中で、県都として産業、観光、農業の振興、若者と女性の活躍、定住交流、中心市街地の活性化、広域連携の拠点となり、元気があるまちをつくる。

④ 新たな価値を生み出すまち

…AIやIot等の先端技術を取り入れ、自立した経済と充実した市民サービスの提供等、持続可能なまちをつくる。

⑤ 歴史や文化の薫り高い環境と調和するまち

…花や音楽等の本市の特性を生かした歴史や文化、山や川等の雄大な自然環境と調和する魅力あるまちをつくる。

(3) 「将来構想」及び「基本方針」の策定に向けた協議

～議論～

(4) 今後のスケジュール

各回の役割

懇談会の流れ

懇談会後の動き

第1回 (5/7)

- ◆新しい総合計画の構成と推進体制を理解する。
- ◆有識者懇談会に求められている役割を理解する。
- ◆今後のスケジュールを確認する。

【資料】

- ・当日配付

【事務局説明】

- ・新しい総合計画の構成
- ・有識者懇談会の役割
- ・全体スケジュール (ほか)

【懇談(議論)内容】

- ・新しい総合計画への思い、意気込み等を共有。

【その他】

- ・現時点で考える「将来に向けてどのようなまちを目指していくべきか」をテーマとした委員レポートの提出(任意)。

- ◎第1回時点における委員の思いや意見等を集約し、将来構想等の参考とするとともに第2回懇談会の議論に繋げる。

第2回 (8/22)

- ◆市の現状等を把握する。
- ◆Yu-Me(ゆめ)会議で出された意見や思いを把握する。
- ◆目指すべき将来のまちの姿(将来構想)、政策の方向性(基本方針)を検討する。

【資料】

- ・事前配付

【事務局説明】

- ・前回振り返り+委員レポート
- ・現行総合計画の進捗状況等
- ・社会指標分析(統計)
- ・市民アンケート調査報告
- ・Yu-Me(ゆめ)会議報告 (ほか)

【懇談(議論)内容】

- ・市の現状やYu-Me(ゆめ)会議の状況等を踏まえ、将来構想、基本方針等に関する議論。

【その他】

- ・将来構想等に対する委員レポートの提出(任意)。

- ◎各回時点における委員の大所高所の幅広い視点からの意見等を集約し、次回の懇談会の議論に繋げる。
- ◎将来構想、基本方針をブラッシュアップする。
- ◎意見書の構成・内容等を検討する。

第3回 (11/14)

- ◆Yu-Me(ゆめ)会議で出された意見や思いを把握する。
- ◆目指すべき将来のまちの姿(将来構想)、政策の方向性(基本方針)のたたき台を検討する。

【資料】

- ・当日配付

【事務局説明】

- ・前回の振り返り
- ・Yu-Me(ゆめ)会議報告
- ・将来構想、基本方針のたたき台 (ほか)

【懇談(議論)内容】

- ・これまでの懇談経過等を踏まえ、将来構想、基本方針のたたき台に関する議論。

第4回 (12/25)

- ◆目指すべき将来のまちの姿(将来構想)、政策の方向性(基本方針)の案に対して意見を出す。
- ◆意見書を検討する。

【資料】

- ・事前配付

【事務局説明】

- ・将来構想(案)
- ・基本方針(案) (ほか)

【懇談(議論)内容】

- ・これまでの懇談経過等を踏まえ、将来構想、基本方針の案に対する意見。

第5回 (1月 第3週)

- ◆目指すべき将来のまちの姿(将来構想)、政策の方向性(基本方針)の案に対する意見書をまとめる。

【資料】

- ・事前配付

【事務局説明】

- ・意見書(案) (ほか)

【懇談(議論)内容】

- ・将来構想、基本方針の案に対する意見書の決定。

- ★1月 第4週
有識者懇談会から市長へ意見書を提出

- ◎1月 第5週
有識者懇談会からの意見書を踏まえ、庁内策定委員会にて将来構想、基本方針の案を決定する。

～ 事務連絡 ～

※第4回懇談会は

と き 12月25日(水)

午前10時～午前11時30分

ところ 福島市役所 4階 市長応接室

での開催を予定しています。